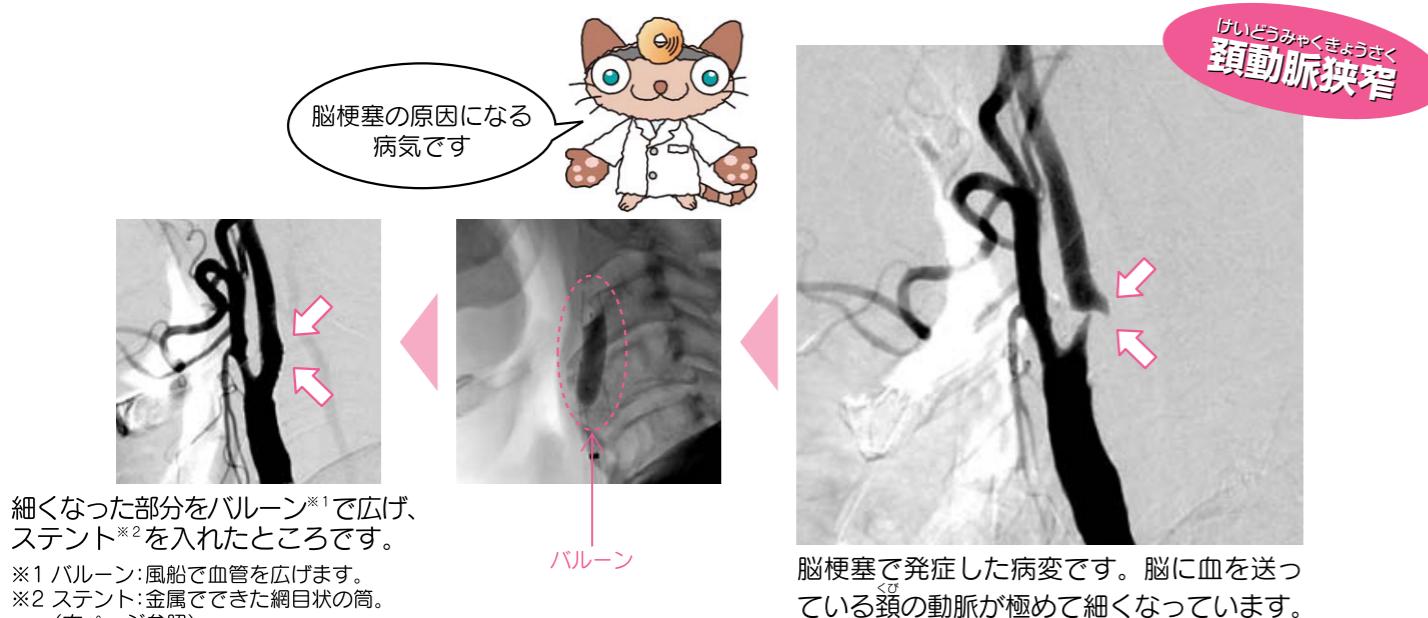
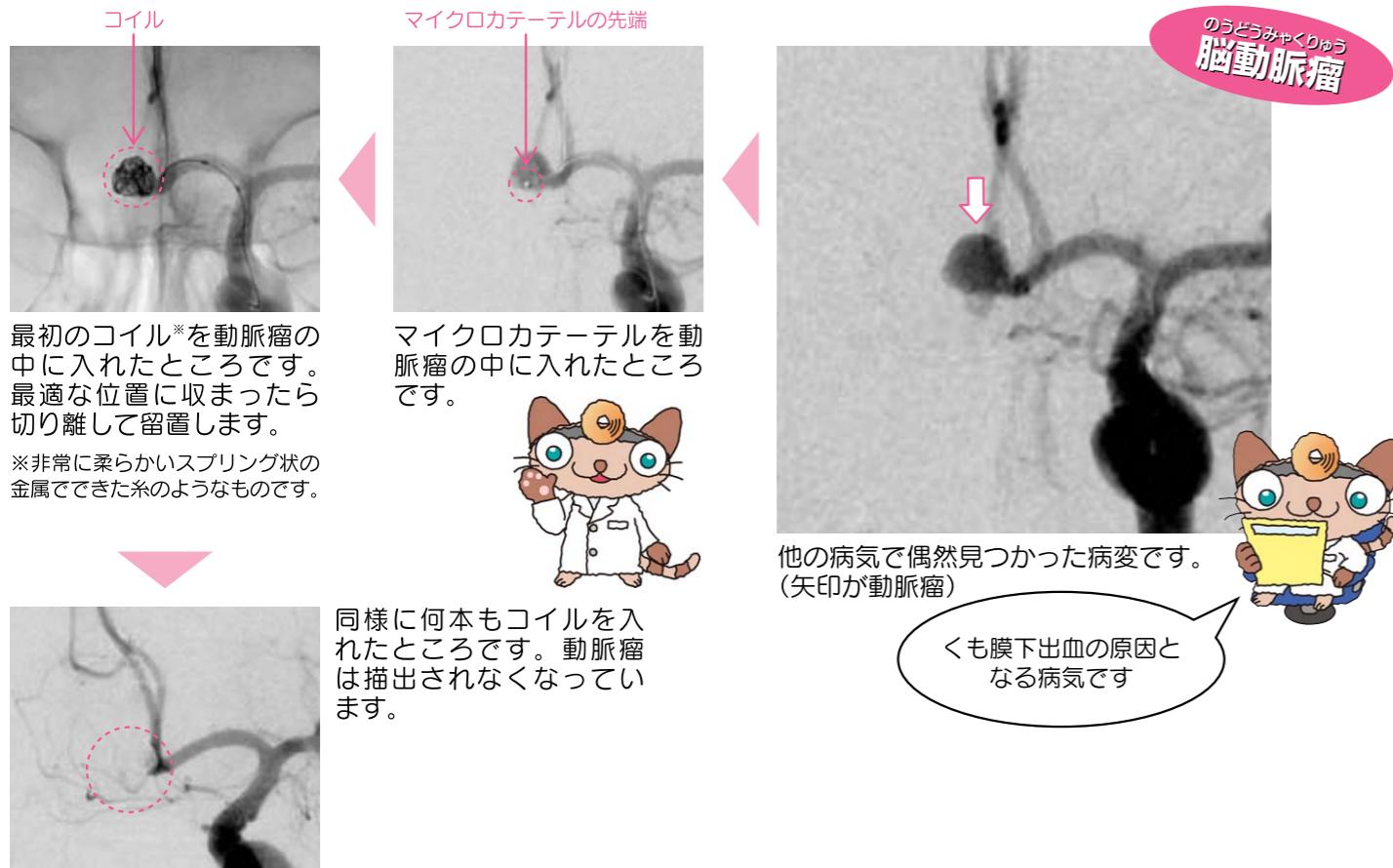


脳血管内手術



- 5 患者様も医者も好みませんが、再治療も比較的危険と負担がなくできます。また病気によつては何段階にも分けて治療したり、こうが経過のいいものもあります。
- 4 病気によっては開頭手術に比べて合併症が少なくなります。(脳血管内手術が第一に選択される病気も多くなっています。)
- 3 入院期間が短くてすみます。極端な話、治療の翌日でも退院は可能ですが、治療後の合併症をチェックするため、当院では治療後も1週間程度入院していただいています。
- 2 治療時間が開頭手術に比べて一般的に短く、また体への負担も軽くてすみます。そのため合併症を持つていて全般麻酔がかけられない方や高齢の方でも治療が可能です。
- 1 局所麻酔でも可能です。全身麻酔でも行いますが、多くの治療は局所麻酔でも可能です。

**今までの手術と比べて
良い点と悪い点は?**



↑脳血管内手術風景 ※写真中の電気ポットは、蒸気でカテーテルの先端を血管の形に合わせて修正するために使われます。



脳血管内手術(脳血管内治療ともいいます)とは、最近テレビでも頻繁に取り上げられる最新の治療です。今までの脳神経外科の治療では、頭にメスを入れて直接病気を治療していました(いわゆる開頭手術)。しかし、10年くらい頭を切らないで治す血管内手術が急速に進歩してきています。具体的にいって、足の付け根や腕の血管などから、「カテーテル」という1ミリから3ミリくらいの細い管を、脳もしくは頸の病気のあるところまで持つていって、病変を詰めたり血管を広げたりして治療します。この間、痛みはほとんどなく、局所麻酔で行った場合は意識もはつきりしています。

脳血管内手術とは



診療実績

	H19年	H20年	H21年
脳動脈瘤	28	48	32
脳腫瘍	24	29	22
脳動静脈奇形	1	3	0
脳虚血疾患	4	5	4
血管内治療 (うち脳動脈瘤)	9 (16)	25 (26)	35 (26)
手術総数	181	232	200

※各年ともに1月~12月で集計

当院での治療を希望される方へ

- なるべく月曜日の脳神経外科外来を受診されるようお願いいたします。
- 紹介状・レントゲンなどがあれば治療のプランニングなどがスムーズに行きます。
- かかりつけ（診療所）の医師からのご紹介が受けられる場合には、当院地域連携課にて診察の予約をお取りすることが出来ますので、かかりつけの医師にご相談ください。
- 入院 治療の1~2日前に入院していただき最終チェックと説明の確認を行います。
- 治療
- 退院まで 病気にもよりますが合併症などが起きないか経過を見るのにだいたい1週間くらい入院していただいている。患者様は翌日から普通にしていますので退屈される方が多いです。
- 退院後の通院、内服



《筆者紹介》

診療部 脳神経外科
診療科長

なかつかさ
中務 正志 医師

《専門領域》
・脳血管障害手術
・脳腫瘍手術
・脳血管内治療
ほか脳神経外科全般

当院での治療の流れ (外来初診の患者様の場合)



1. 外来での説明、検査

当院ではご本人、ご家族に何度も説明して十分納得されてから治療に入るようになっています。また外来で可能な検査は極力外来で行うようにしています。



2. 検査入院

最終検査(カテーテル検査)はしばしば入院が必要となります。多くは2泊3日です。省略できることもありますが、治療に対してより正確な戦略が立てられますし、基本的には治療も同じ流れなので本番の治療のときの不安軽減になります。



3. 外来での最終説明、治療予定日の決定

退院後に再度時間をとて説明します。

治療には前もって薬を飲む必要があることが多いので、外来で治療日も決定します。



4. 入院

治療の1~2日前に入院していただき最終チェックと説明の確認を行います。

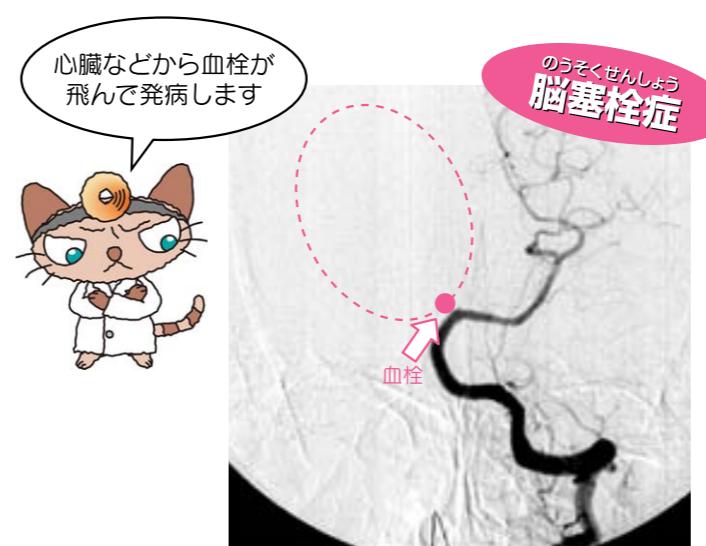


5. 治療

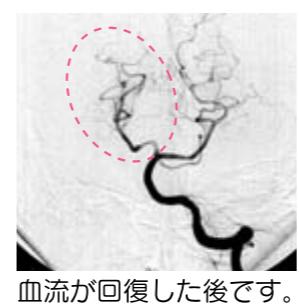
6. 退院まで

病気にもよりますが合併症などが起きないか経過を見るのにだいたい1週間くらい入院していただいている。患者様は翌日から普通にしていますので退屈される方が多いです。

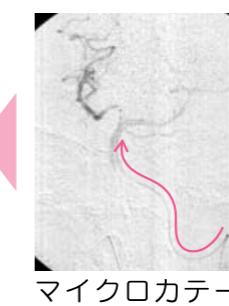
7. 退院後の通院、内服



(矢印)脳の動脈が詰まっています



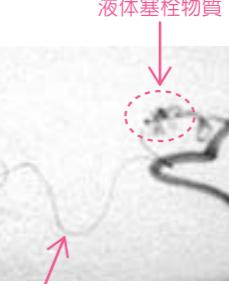
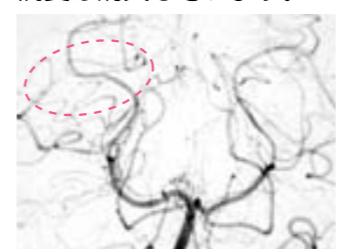
血流が回復した後です。



マイクロカテーテルから薬を流して血栓を溶かしています。



カテーテルから液体塞栓物質(接着剤のようなもの)を流したところです。病変は消失しています。



液体塞栓物質
マイクロカテーテル

おわりに

※ 治療による合併症は脳血管内手術と開頭手術では病気の種類と場所によって異なります。手術と開頭手術では病気の程度によって異なります。当院は開頭手術に関しても症例は非常に多く、一流と自負しております。また開頭手術と脳血管内手術を同じスタッフが行っておりますので、患者様と相談して最良の治療が行えるように努めています。

1 病気によっては治療の確実性がないこともあります。病気の場所と形で対象にならないことがあります。病気によっては開頭手術に比べて効果があります。

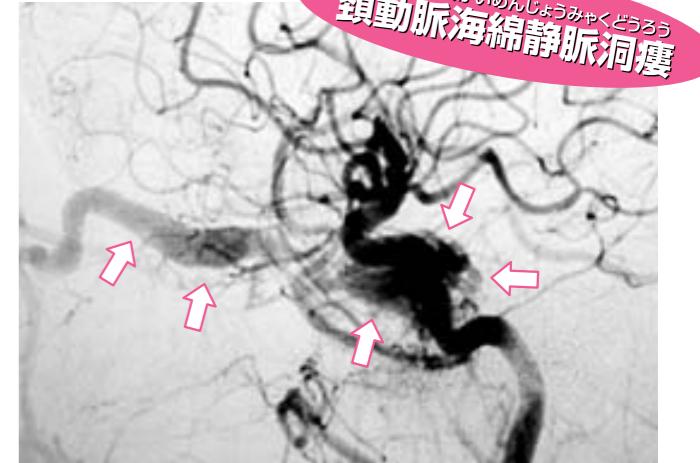
2 病気の場所と形で対象にならないこともあります。病気の場所と形で対象にならないこともあります。病気によっては開頭手術に比べて効果があります。

3 病気によっては治療の確実性がないことがあります。病気の場所と形で対象にならないことがあります。病気によっては開頭手術に比べて効果があります。

4 病気によっては治療の確実性がないことがあります。病気の場所と形で対象にならないことがあります。病気によっては開頭手術に比べて効果があります。

5 病気によっては治療の確実性がないことがあります。病気の場所と形で対象にならないことがあります。病気によっては開頭手術に比べて効果があります。

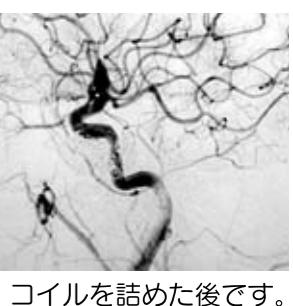
6 脳血管内治療では脳を触らないので、開頭手術では必要な手術後の運動制限などが必要ありません。



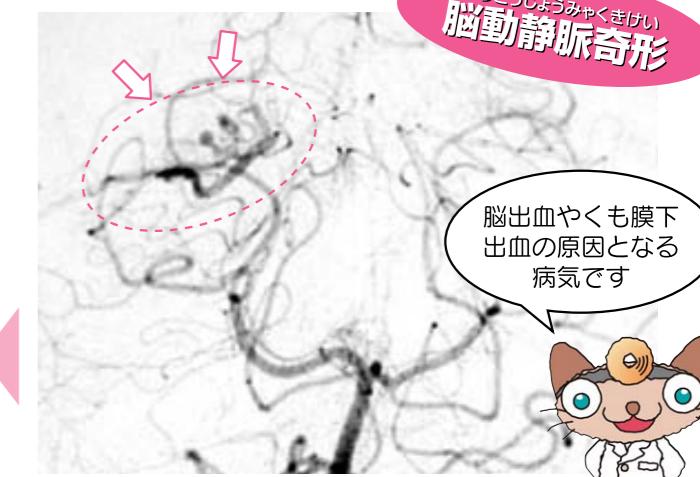
矢印が病変です。



主に目の腫れ、複視※などで発病します



コイルを詰めた後です。病変は消失しています。



丸で囲んだ部分が病変です。



のうどうじょうみゅくきけい
脳動静脉奇形

脳出血やくも膜下出血の原因となる病気です

